



龍 馬 通 信

No. 93

2025 年 11 月号

立冬～小雪の候 来るべき冬に備える

コスモス揺れて
秋風吹いて
まもなく木枯らし一番
酷暑の夏を過ぎて
暑さからの解放も 束の間
短い秋と厳しい冬の前感
今年の秋は格別の想い
快い風も 厳しい寒に感じる
何を見ても 何を聞いても
家族のいない寂しさが
心の殆どを 占める
あるべきところにあり
いるべきところにいる
ということが人生において
いかに重要なことかを
しみじみとを感じる
祭りの後の静寂にも似て
深呼吸する空気が
冷たく重い
妙に心にしみる季節の移ろい
気分を変えよう
暖かい料理には 燗酒
人肌のぬくもりが
毛細血管に忍び込み
体全体がほくほくと喜びの声を上げる
友あり きれいに酒をたしなむ
親爺を思い出す
色白の親爺が一口飲むたびに

少しずつ顔が赤くなる
そんな時の親爺は 男前だ
酒を飲むなら そんな酒を飲みたい
人を魅了するような飲み口
鍋料理が恋しくなる
百種類もある日本の鍋料理
カレー チーズ トマトなど
比較的新しい種類の鍋も
段々日本の冬に馴染んできた
北国では 「雪虫」が空を舞い
山々は冠雪する
鉛色の空に閉じ込められる季節
人びとはじっと耐えて
やがて来る春を待つ
2月3日の節分（立春の前の日）までが
暦上の「冬」となる
朝と同じように
春は万人に平等に訪れる
寒さが厳しければ厳しいほど
人は鍛えられる
ぽかぽか陽気の春
一斉に生き物が動き出し
春を謳歌する春がやってくる
それを楽しみに 冬を楽しもう
冬と闘おう
何よりもしっかりと
心を鍛えることが
大切だと思う



播州日誌

春日大社にて

10月18日(土)、前日SRの西日本交流会に参加したのを機に久しぶりに春日大社に参詣した。何年振りだろう。何十年の歳月を経て殆どその記憶はない。近鉄奈良駅から徒歩30分。何キロぐらい歩いたのだろうか。とにかく歩いて歩いて後で聞いたら往復で1万2千歩だとか。疲れるはずだ。

大社の「一之鳥居」を越えて、左に興福寺の五重塔を見る。奈良公園に隣接して、その敷地面積は広大なものでその昔の荘園跡だという神社域は途方もなく広がりを見せる。

そこに数千頭の鹿が自生しており参詣者の心を和ませる。地域的に閉鎖された領域で交配を重ね独特のDNAを持ち「人に慣れ親しむ」性質を持った鹿となり、その系統は引き継がれている。

男鹿には立派な角があり、神様のお使いというだけあって近づき難い貫録を感じる。



春日大社は全国に3,000社ある春日大社の総本社。創建は奈良時代でその際、祭神の武甕槌(タケミカヅチ)命が鹿島から白鹿に乗ってきたという伝承から一帯では昔から鹿が大切に保護されてきた。9月10月頃はいわゆる発情期で男鹿の女鹿を呼ぶ悲鳴のような雄たけびが所々で発せられる。男鹿には注意と事前情報。

愛らしさを象徴とするように鹿は人と接するとき頭を上下に振ってお辞儀する。それはまるで「今日は」「いらいしゃい」と挨拶しているようで癒される。

どこで情報を得たのか鹿のお辞儀に合わせてお辞儀を返す外国人が多くいた。実は鹿の首振りはかなりストレスになるらしく神社の人からはちょっと困った問題だと言っていた。外国人の親も子供もペコペコとお辞儀をする何とも言えない愛嬌があって見るものをほっこりとした気持ちにさせる。

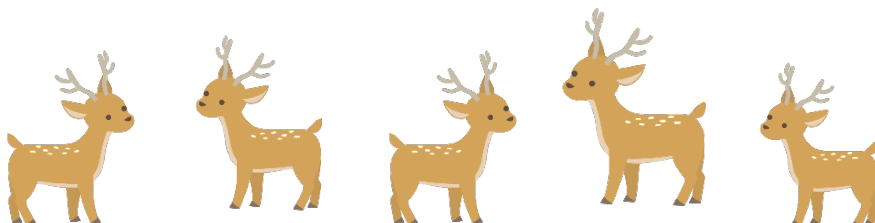
外国人と言えはいわゆるインバウンドが9割という状況。日本人を見つけるのが難しいぐらい。春日大社でも数千人の来訪。だが、神社に参詣というよりは鹿にせんべいを与えたりして交流することが目的になっている。

大社では若宮が人気No.1で令和4年には20年に一度の式年造替が行われていてまだ新しく朱色が際立っている。お参りしているのは日本人が多く外国人は鹿とカメラでの撮影に余念がない。

オーバーツーリズムが社会問題化しているが、ここ春日大社はちょうど適当な混み具合で深刻さはない。帰途、近鉄奈良駅に同う途中の商店街は外国人が溢れ、奈良特有のしっとりとした落ち着きのある店は隅に追いやられている。それをどう考えるかは難しい問題だ。とにかく日本の観光地での観光資源の豊かさと奥深さが感じられた。非常に疲れたのは事実だが駅のカフェで飲んだドラフトビールにしっかりと癒された。

有意義な一日だったかなと、今思い出している。

2025. 10. 27



寿司よし 鯖を喰らう

店に入ると同時にまさに開口一番「今日の鯖は最高」と声がかかる。食べる前からそう言われると嫌が上にも期待は高まる。

まず、付きだしは蒸し穴（むしあな）。分厚い白い身が蒸しあがって鮎色のタレがかかっている。一口、口に運ぶとロー杯に穏やかな春の海が広がる、それ程に優しい嬉しくなる味だ。一杯目のビールを飲み干して一息ついたところで話題の鯖が出る。あとマグロのトロと赤身それから剣先イカの4種盛り。



ビールで流し込むのは勿体ない。ここは冷酒に登場してもらう。「八重垣」に「剣菱」「菊正」の2合瓶を並べて舌なめずり。さて、どれからいくか。少し冷たいぐらいに冷えたやつを口に含む、豊潤な米の香りがする。

とりあえず鯖からいってみる。青森産の大型サバ、余程新鮮でないと刺身にはできない。コリと少し歯ごたえがきた後、鯖らしい海の香りが一杯に口に広がるのを楽しむ。続けて二口目、生姜醤油がきいて身のうま味と絶妙に合う。今年はマグロが豊漁。ありがたく大きな切り身のトロを食べる。ロー杯に広がる豊かな魚の恵み。トロっと溶けて、喉に流れ込む。赤身もさっぱりと剣先はこりこりとした食感。酒が進む。身体の芯からぬくもりが。極上の酔い心地。続いてサンマの刺身。これまた新鮮でなくては。そして調理する人の腕が極立つ一品。今年のサンマは形もよく美味い。幸福なことである。

鯖とは違う食感が舌を刺激する。しめはトロ鉄火。寿司よし自慢の一品だが、魚と海苔のコラボが丁度加減が良く食べる人をうならせる。美味しいものを食う幸福。それに一緒に飲み食べる友がいて益々その幸福は増幅する。飲んだ食った至福の時はほんの一瞬。その余韻を胸に店を出る。

2025. 10. 27

大相撲ロンドン場所

さぞかし驚いたことだろう。200キロ超の巨漢力士もいれば100キロほどの小兵力士もいる。大相撲に重量制はない。巨漢力士同士の激突はまさに肉弾戦。どんとぶつかり合う音が場内に響いたことだろう。小兵力士が技で巨漢力士を倒す爽快感はロンドン市民にとっても同じ事だろう。10月15日～19日までの5日間の公演。英国、ロンドンのロイヤルアルバートホール。連日割れんばかりの声援に包まれ揺れに揺れる程人々を興奮の坩堝に引き込んだ。様々な所作も神がかって奇妙なもの滑稽なものと写ったかも知れない。大相撲は日本の文化の粹であり文化の塊とも言える。

相撲の所作は全て神様への礼儀だから神がかって当たり前かもしれない。モンゴルなど外国人力士が増えて日本古来の文化・伝統が少し歪んで見える場面もあるが、力士の国籍のグローバル化は時代の流れでもある。ウクライナ出身の安青錦（あおにしき）の活躍には目を見張るものがある。彼は日本の文化しきたりに従うことは当然だと言ひ、光栄であるとも言った。

裸の親善大使として彼らは十分にその勤めを果たした。ロンドン市民達や子供達との交流は微笑ましく見るものをほっこりとさせる。

ちょんまげ、羽織、袴姿の力士達はたくさんの市民に取り囲まれた。5日間のロンドン場所は豊昇龍の優勝で幕を閉じたが、ロンドンの人達にとってはファンタジーでエキサイティングな5日間であったと思う。

大相撲の力士達にとっても忘れ難い思い出になった事は間違いない。

2025. 10. 28

福留事務所のみんなにあれこれ聞いてみよう！



- ① 秋といえば、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、など「〇〇な秋」で思いつくものは？
- ② 最近の出来事



福留先生

- ① 『夜の時間が長い秋』
何かと思い悩む事が多い
気分一新して仕事に精励する
- ② 11月14日からの「衛生管理者受験講座」の準備を進めている



黒田さん

- ① 『食欲の秋』
新米が食べれる 🍚
- ② 秋冬用の服を買いました 🧥



江平

- ① 『食欲の秋 🍁』
涼しくなってきた食欲が増し増しです…。でかきたい欲や物欲も増えます 🍷
- ② 保育園と小学校の運動会、子ども達の頑張っている姿をみてジーンとしました。



松本

- ① 『睡眠の秋』
気温が丁度良く
睡眠時間が長くなりました 🌙 笑
- ② 七五三のお参りに
行ってきました 📄



中村

- ① 『外出の秋』
夏の暑い日は出かけるのが億劫でしたがフットワーク軽く外へ出るようになりました。
- ② 猫が布団に入ってくるようになりました 🐱

～今年もやります！第一種衛生管理者受験講座！～

「第1種衛生管理者」とは、労働安全衛生法（第12条）により50人以上規模の事業所には、必ず1人以上の衛生管理者を選任し、労働基準監督署長に届け出なければならないとされる国家資格です。労働環境が高度化、多様化する中、事務所工場その他の労働安全、労働衛生の向上は益々その重要性を増しており「衛生管理者」への期待は高まる一方です。

★当講座をお薦めする理由★

- ① 試験科目が比較的少なく、試験回数も多いので確実に合格できること。
- ② 社会保険労務士試験の試験科目と重複しているため、その準備として活用できること。
- ③ 受験会場が加古川で他の受験者に比べて有利なこと（近畿地方全域の方が、加古川で受験します。）
- ④ 法的には50人以上規模の事業所に選任義務がありますが、規模未達の事業所であっても選任が望ましいこと。
- ⑤ 社員教育、自己啓発に最適の資格であること。

●●●● 受験講座詳細 ●●●●

《受講料》 30,000 円（税別）

《教材費》 4,600 円（税別）テキスト 1 冊、問題集 1 冊

当事務所オリジナル問題集、資料集

《日程》 1 日 2 時間の 6 日間 合計 12 時間 （ご相談に応じます）

《受験資格》 大学卒、高専卒（実務 1 年）、高校卒（実務 3 年）、などですが、実務経験は、総務に所属し、健康診断、救急箱の管理でも良く、事業主の証明があれば受験できます。

《受験料》 8,800 円

